

# 容器包装の発生抑制と再使用を促進するための請願

## 一 請願の趣旨

容器包装リサイクル法(「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」)は、1995年に容器包装ごみをリサイクルするために制定されました。その後、法附則第三条に基づいて、2006年に一部改正されたのですが、衆議院環境委員会で19項目、参議院環境委員会で11項目もの附帯決議が採択されたことに示されるなど、多くの課題を抱えたままの成立となりました。

このため、ごみ排出量は“高止まり”のまま、環境によりリユース容器が激減し、リサイクルに適さない塩素系容器包装が未だに使われているのが実態です。

根本的な問題は、自治体が税金で容器包装を分別収集しているため、リサイクルに必要な総費用のうち約9割が製品価格に内部化されていないことにあります。このため、容器包装を選択する事業者には、真剣に発生抑制や環境配慮設計に取り組もうとするインセンティブ(誘因)が働かず、ごみを減らそうと努力している市民には、負担のあり方についての不公平感が高まっているのです。

今日、地球温暖化防止の観点からも、資源の無駄遣いによる環境負荷を減らすことが求められています。諸外国の先進的な取組みでは、「ホテル等での使い捨て用品の無償提供禁止」や「ペットボトル入の飲料水の調達を禁止」する自治体が登場しています。

我が国においても、一日も早く持続可能な社会へ転換するため、下記の事項について請願致します。

## 二 請願事項

【第1項】 地方自治法第99条の規定に基づき、次の事項を基本とする『容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書』を、国会及び関係行政庁に提出すること。

1. 容器包装リサイクル法の役割分担を見直し、分別収集・選別保管の費用を製品の価格に内部化する。
2. リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)を促進するため、次のような様々な制度を法制化する。  
レジ袋など使い捨て容器の無料配布を禁止し、リユース容器の普及を促す。  
リサイクルできる分別収集袋やクリーニング袋等も、容器包装リサイクル法の対象に加える。
3. 製品プラスチックのリサイクルを進める仕組みを新たに法制度化する。

\* オプション 自分の住んでいる自治体の状況をチェックし、加算する項目を選択して署名を集めて下さい。

【第2項】 自治体の2R(リデュース、リユース)を促進するため、以下の施策を実施すること。

1. 市民1人当たりのごみ排出量の削減目標値を設定・強化すること。
2. 事業者とレジ袋の無料配布禁止協定を結ぶなどの支援策を導入すること。
3. 学校牛乳をリユースびん化し、“もったいない”“大事に使う”という環境教育を推進すること。
4. 自治体の会議では、PETボトルなどの使い捨て容器入の飲料の提供を禁止すること。
5. 自治体の公共施設には、冷水機や給湯室を設置すること。
6. イベントでのリユース食器普及のための支援策を導入すること。
7. プラスチック製容器包装の分別収集を実施すること。
8. スーパーやコンビニへの店頭回収を促す支援策を導入すること。
9. 廃棄物会計に取組み、容器包装の品目別の収集費用を市民に公開すること。

(自治体名) 議会議長 殿

20 年 月

団体名

名 前	住 所

【取り扱い団体】